

●令和元年度グローバルプロジェクト推進公募採択一覧

No	プロジェクト名	プロジェクト代表者	プロジェクト概要
1	ニセコ観光圏における外国人観光客の動態とオーバーツーリズムの検証	プラート カロラス	本プロジェクトは、ニセコ観光圏におけるオーストラリア人を中心とする外国人観光客の観光動態の把握とオーバーツーリズムの検証を目的とする。 ニセコ観光圏においては、外国人観光客の増加が引き続き見込まれるが、平均宿泊日数の減少がみられ、特にオーストラリア人観光客においてその傾向が顕著であるが、その原因は明らかではない。 本プロジェクトでは、ニセコ町などとの連携により、ニセコ観光圏でのヒアリング調査を実施、その動態を把握するとともに、原因究明を試みる。
2	Wi-Fiスポットを用いた小樽観光動態データ取得手法に関する研究	深田 秀実	これまでWi-Fiスポットを構築するためには高額な装置を必要としていたが、IoT技術の発展に伴い、安価な簡易型Wi-Fiスポットを設置できるようになってきた。しかし、この簡易型Wi-Fiスポットで得られたデータを観光行動動態の分析に用いる事例は少ない。 また、最近では小樽市内中心部の観光において、従来の「小樽駅→小樽運河→堺町通り→小樽駅」観光ルートに加え、外国人観光客主体に「南小樽駅→堺町通り→小樽運河→小樽駅」の観光ルート利用が増加しているが、その動態の詳細は明らかではない。 そこで、小樽市観光協会などと連携して、Raspberry Piをベースとする簡易型Wi-Fiスポットを堺町通りなどに設置し、観光動態（人流）データの把握を試みる。この簡易型Wi-Fiスポットで得られたデータに対してGIS（地理情報システム：Geographic Information System）などを用いて分析し、観光動態をどの程度推定できるか検証する。
3	地域企業のサステナビリティと経営戦略に関する研究	加藤 敬太	近年、地域経済を支える地域企業にとって最大の課題はサステナビリティ（持続可能性）を確保することにあります。地域企業のその活動が長期にわたって存続することは、地域企業が地域に還元する最大の貢献と考えられるためである。わが国は、世界的に稀にみる長寿企業大国である。このことは近年、世界的に注目されています。本研究は、世界的に活躍する研究者とも連携して、この課題に取り組み、その成果を北海道経済、地域人材、教育の側面から還元することを目指す。
4	日本遺産による小樽の歴史文化の広域観光資源化	高野 宏康	本プロジェクトの目的は、小樽市の日本遺産を活用することで、小樽の歴史文化の広域観光資源化、新たな広域観光ルート・コンテンツの開発、広域の地域連携を推進し、地域活性化とグローバル人材の育成に寄与することである。本プロジェクトでは、2018年度に認定された「北前船」、2019年度に認定された「炭鉄港」の2つのシリアル型日本遺産、2020年度認定を目指している地域型日本遺産について、①構成文化財の調査研究、②地域活性化事業、③認定効果の検証、を実施し、日本遺産のより効果的な活用に取り組む。
5	2000年代以降における旭川家具産業集積の進化プロセスと中小企業の価値実現	林 松国	2000年代以降、国内5大家具産業集積の一つである旭川家具産業集積は量的縮小の影響に対応する形で産業集積の構造が大きく変わり、現在、自己完結型の生産を行う中小企業を中心に、多様なニーズに柔軟に対応しながら高いデザイン性と耐久性の脚付家具を生産する産業集積に変貌している。 本プロジェクトでは、旭川家具産業集積における中小企業の価値実現について、異なる階層に位置する企業や規模の違いによって、価値実現のあり方が異なるという仮説に基づき、成長性の高い既存企業と2000年代以降に創業した企業の経営実態を詳細に調査することで明らかにしていく。それによって、付加価値の高い産業を創出することで地方経済の自立化モデルを探究していきたい。